

令和4年度第1回若葉区支え合いのまち推進協議会議事要旨

- 1 日時 令和4年6月30日(木)午後2時～午後4時
- 2 会場 千葉市若葉保健福祉センター 3階大会議室
- 3 出席者
委員数29名(欠席委員数 4名)
傍聴人 0名
事務局 11名

4 議題

- (1) 令和4年度若葉区支え合いのまち推進協議会正副委員長の選任について
- (2) 令和4年度の協議会の運営、開催スケジュールについて
- (3) その他、コロナ禍での地域活動の意見交換

5 議事経過

- ・委員定数33名のうち、4名の欠席を確認して開会した。
- ・若葉保健福祉センター前嶋所長挨拶の後、事務局職員の紹介を行った。事務局より会議の公開について説明があり、あわせて会議録や広報誌作成のため写真撮影、録音を行うことについて了承を得た。

議題 (1) 令和4年度若葉区支え合いのまち推進協議会正副委員長の選任について

正副委員長の選任

前嶋若葉保健福祉センター長が仮議長となり、委員長1名、副委員長3名の選任が行われた。

委員長については、津田委員より社協社会福祉協議会(以下「社協」)白井地区部会長の駒野委員を推薦する提案があった。白井地区の地域福祉活動が非常に活発であること、本計画の中核を担う社協地区部会からの委員長選出が好ましい等の理由による推薦であった。併せて、社協千城台西・北地区部会長の菊次委員からも駒野委員を推薦する意見があった。他に推薦者はなく、全会一致で駒野委員を委員長に選任した。

続けて、副委員長については津田委員より、前年度から引き続き、民生委員児童委員協議会の藤川委員とあんしんケアセンター千城台の尾崎委員を推薦する提案があった。また、津田委員より残り1名の副委員長は団体のバランスを考慮し、自治会連絡協議会からの推薦の提案があった。

津田委員の提案に応じ、若葉区自治会連絡協議会の角田委員より、大宮地区会長の前田委員を推薦する提案があった。他に推薦者はなく被推薦者の同意も得られたため委員に諮ったところ、全会一致で藤川委員、尾崎委員、前田委員の3名を副委員長に選任した。

以降、議事進行は駒野委員長が行った。

次の議事に移る前に、委員改選後初めての会議開催のため、各委員より自己紹介・活動紹介を行った。委員からは、自己紹介・活動紹介に加えて、各自の地域福祉活動への思いや現状の問題点等についての意見もみられた。

・運営企画委員の選任

運営企画委員については、事務局から委員の提案が行われた。今回、新たに正副委員長に選任された駒野委員長、藤川副委員長、尾崎副委員長、前田副委員長、及び昨年度の運営企画委員であった4名の津田委員、大嶋委員、山内委員、平賀委員を引き続き選任したいとして提案した。他

に推薦者はなく、全会一致で上記8名が選任された。

議題 (2) 令和4年度の協議会の運営、開催スケジュールについて

・若葉区支え合いのまち推進計画・推進協議会について

市地域福祉課和田課長より、市計画、区計画の概要及び第5期計画の策定状況と中間見直しについて説明があった。続いて、若葉区高齢障害支援課海老原主査より、今年度の本協議会スケジュール、令和3年度の取組状況調査についての説明があった。

議題 (3) その他、コロナ禍での地域活動の意見交換

引き続き、意見交換が行われた。

コロナ禍での地域活動の現状については、委員の自己紹介・活動紹介の中で触れられたことから、コロナ禍での地域活動に縛られずに意見交換を行うこととなった。

○大嶋委員

大規模災害発生時、千葉市の場合には福祉関係部局と防災関係部局の役所間の連携が全く進んでいないように感じる。大規模災害時に市民が広域指定避難所に避難した際、福祉的な問題がたくさん出てくるのが想定されるが、現状では関心が低いようにみえる。

防災関係局と福祉関係局でもっと緊密な連絡をとり、私たち市民に決定事項を指示して欲しい。また、このテーマについては、若葉区の支え合いのまち推進計画でも協議していきたいと思っている。本件について何か市で実施していることがあれば是非教えて欲しい。

○海老原主査

本日、担当部局が出席していないため、後日、事務局で確認し、次回の協議会でご説明できればと考えている。

○角田委員

災害時は、まず皆さんは避難所に行く。福祉が必要な人でも医療が必要な人でもまず大きな災害が起こったときは、自分の町内はどこかの避難所か決まっている。地域では避難所運営委員会が組織化され、各々の理事が中心となり訓練とかをしていると思う。

もしも災害起こったときは、まずは避難所に行って、そこから福祉が必要な人は地域で定められた福祉避難所や、医療が必要な人は医療避難所と振り分けるよう、各避難所で設定されていると思うが、その辺はどうか。

○大嶋委員

自分の地区でもシステムは作っており、指定の避難所もできているが、実際は細かい点で様々な問題を抱えている。それぞれの地域で、千葉市の防災担当が中心として避難所へ誰が行くのかという想定までは出来ているが、福祉の関係が極めて疎遠であることが心配である。

○角田委員

自治会役員が変わると避難所運営委員も変わってしまい継続性が無い。私の地区では、可能であれば専門で避難所運営委員を複数年やってもらえるよう、各自治会にお願いをしている。

今の状況では大きな災害が来たら避難所は機能しないと思う。以前、地域の拠点的避難所となっている植草学園大学さんの訓練に参加させてもらったが、「もしも」に備えて会議とか訓練をやっておかないと、絶対対応できないと思う。

今、大嶋さんが心配してる福祉的な心配もあるが、まずは千葉市内にある避難所運営委員会が、

きっちりと機能するように、平常時の研修や訓練が必要だと思う。

○平賀委員

植草学園大学では拠点的避難所として千葉市と協定を結んでいたが、終了している。現在は、それに代わるものとして千葉市と改めて災害対応に関する協定を結んでいる。災害時に植草学園の駐車場や、施設の一部を提供できるような内容である。

○山内委員

災害対応に関する問題は大変大きな問題で、私も以前都賀の台の自治会長をしていて、地震が来た際、住民をどこまで救え、どこまで対応できるかが不安であった。

この問題は、本推進協議会内で議論するより、今度、防災対応を精査してもらう趣旨を行政に要望するというスタンスでいいと思う。大変、難しい問題と感じる。

○前嶋所長

防災と福祉との連携という点では、市では要支援者個別避難計画策定をモデル的に進めている。災害弱者の避難支援に関する計画を策定する試みが防災部門の主導で動いているが、福祉部門と連携して進められている。

○駒野委員長

次第では次に「(3)その他、コロナ禍での地域活動の意見交換」となっているが、先ほどの自己紹介・活動紹介で皆さんの思いや活動状況を説明してもらい、また、今の質疑応答にて、地域防災関係で色々なご意見や提案をいただき、それぞれ議論が出来たと思う。終了の時間が迫ってきたため、本日の議事は終了としたい。

私としても、地区部会の皆様より、今、取組んでいる活動をできるだけ報告してもらい、本協議会で皆さんと情報を共有し議論できるような場を作って行きたいと考えている。今後も皆様ご協力をお願いしたい。

駒野委員長が閉会の挨拶をして終了となった。